

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 26年												平成 27年												平成28年			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	
カンピロバクター	88	76	99	111	317	231	172	180	153	151	118	98	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	33	12 (15)	15	
病原性大腸菌	104	69	71	83	113	99	81	62	68	71	161	207	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	54	33 (38)	24	
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	0	1	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	9	5	3	10	13	28	13	15	2	0	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	5	2 (3)	2	
黄色ブドウ球菌 MSSA	24	9	2	13	27	20	24	34	37	20	21	28	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	9	5	4	
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	11	5	10	9	14	20	13	12	12	9	11	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	4	3	2	
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	2	0	1	2	4	2	0	0	1	2	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	0	0	
ロタウイルス	1	3	2	7	4	1	0	0	0	0	1	1	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	1	1	0	
アデノウイルス	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	1	1	0	
ノロウイルス	151	71	68	29	5	5	0	0	0	1	0	53	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	8	5	6	

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第3週(1月18日~1月24日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6					5		1
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	4	ウイルス性肝炎(A, E型を除く)	1			1				
		ジアルジア症	1		1					
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2					2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第3週 1/18~1/24)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

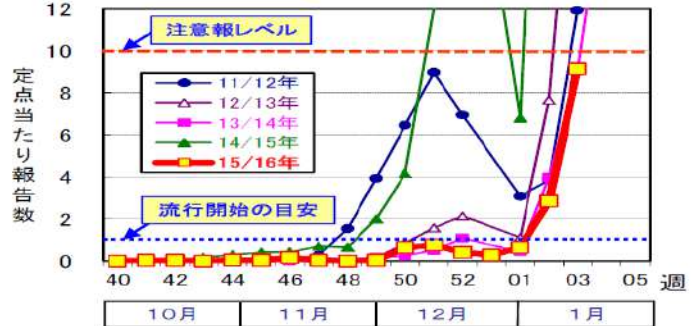
定点医療機関からの報告数は、329人(定点当たり9.14人)と前週の約3.2倍に急増し、注意報レベル(定点当たり10.0人)に近づいています。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第3週に11件、第4週も1月26日時点で28件の報告があり、今シーズンの累計は42件となりました。(速報値)

なお、第3週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が63人、B型陽性が101人報告されています。

今後、流行の拡大が予測されますので、手洗いうがいの励行、咳エチケット、適度な湿度(50~60%)の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人込みや繁華街への外出を控えるなど、感染予防対策を心がけてください。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	329	9.14	21.07	↑	小児科	流行性耳下腺炎	14	0.61	0.42	↔
小児科	咽頭結膜熱	13	0.57	0.29	↔	眼科	RSウイルス感染症	7	0.30	0.55	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	2.65	1.49	↔		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	158	6.87	10.43	↔		流行性角結膜炎	5	0.63	0.45	
	水痘	10	0.43	1.24		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.09	0.12			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	32	1.39	0.20	↔		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.43	
	突発性発しん	4	0.17	0.35			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.04			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14		
	ヘルパンギーナ	1	0.04	-							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↔ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	12	男性(40歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・2人、女性(90歳代)・1人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	2	女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	48	男	2015/12/22	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱 痙攣 その他	2	男	2015/12/28	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	26	男	2016/01/03	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	24	男	2016/01/05	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の呼吸器疾患	気管支炎	3	男	2015/09/14	咽頭拭い液	エコーウイルス18型 エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 気管支炎	3	男	2015/12/14	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 上気道炎 気管支炎	3	女	2015/12/14	鼻汁	ライノウイルス RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 細気管支炎	1	女	2015/12/14	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(41.0) 細気管支炎	3	男	2015/12/14	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	3	女	2015/12/16	鼻汁	ライノウイルス